

くらしの
相談など、
いつでも
お気軽に

日本共産党 武蔵野市議団ニュース

2009年3月15日

No.115

《連絡先》

梶 雅子 47-9391

橋本しげき 36-3110

発行 日本共産党武蔵野市議団 Tel 60-1888 fax 51-9485

3月議会

代表質問

【橋本しげき議員】

私は、平和問題、市民のくらしを守り支える自治体の役割、介護保険、子育て支援、国民健康保険税、地球温暖化対策、外環道路問題、について質問しました。

市長の主な答弁は、

- (1)雇用環境は極めて厳しい。市役所全体の中で雇用創出を図りたい
- (2)中学生までの医療費無料化は10月からスタートできるように市の方針を確定したい
- (3)学校給食費は4月以降も当面値上げせず頑張っていく
- (4)地球温暖化対策はCO2削減等について大きくPRしたい。太陽光発電の公共施設への設置拡大はぜひすべき
- (5)外環本線をどうぞ着工してくださいという考えは持っていないので、国には従来からの課題をきちんと明確にしてほしいと要望したい、とのことでした。

一般質問

【梶 雅子議員】

今回は、(1)介護保険制度について、①4月からの要介護認定審査について、本人の状態が変わらないのに要介護度が下がることのないように、②団塊の世代が高齢期を迎える対策は、③公的介護の改善で仕事と雇用を生み出すため市内の事業所の人材確保の支援や、市独自の支援制度の検討を(2)高齢者が歩きやすい、道路の舗装について、の2点を質問しました。

市長の答弁は

- (1)①コンピューターによる一次判定は、限界がある。市の二次判定をやって適性な要介護認定を継続していく。②予防事業だけではなく、中・重度の要介護者に対応したサービス基盤のため一定の施設を作っていく。③今後も工夫して支援してまいります。
- (2)バリアフリー新法と道路移動等円滑化基準を元に施行を行なっている。視覚障害者のヒアリングを予定している。高齢者の声を聞く機会も検討したい。

4月の無料法律相談

4月14日(火)午後1時30分より

*日本共産党市議会議員控室

*各議員まで予約を

*武蔵野法律事務所の弁護士が相談にのります。

【毎月第2火曜日が法律相談日です】